

すこやか通信

2021年2月15日発行

問合先

東市民センター

TEL.049-286-3357

青少年健全育成推進協議会をご存知ですか？

鶴ヶ島市では、市内の全中学校校区ごとの5地区に「青少年健全育成推進協議会」が設置されています。わが富士見中学校地区は第3地区になります。地区内の自治会・民生児童委員・子ども会・少年スポーツ団体・PTA等の代表者、杉下小・栄小・富士見中の校長、教頭、富士見市民センター・東市民センター、会の趣旨に賛同する個人会員で構成され、運営は会員から選出された常任理事会の討議で行われています。事務局は富士見市民センター・東市民センターが担当。青少年の育成を推進するための事業を担当する研修部、防犯パトロール等の環境整備をする指導部、広報・啓発活動の広報部の3部会です。地区内各団体の主催行事に、人的支援をすることを通して、地域と青少年の連携を図ることができる環境づくりを大きな目標としています。皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



新型コロナウイルス禍で思うこと

第3地区青少年健全育成協議会 会長 瀧嶋 邦夫

米国や欧州の人たちはマスクをあまり付けたがらないようです。マスクで顔の筋肉の動きが分かりにくいと、相手の表情が読み取りづらくなりますし、自分の意思も伝えにくくなるのが理由の一つと考えられます。実際、米国では知らない人同士でも目が合うと、互いに微笑んで挨拶をしますが、このとき口元の動きが大きな役割を果たしています。

今の子どもたちは、気持ちを上手く伝えられず、友達付き合いでトラブルになり、それが不登校につながることもあると聞きます。自然な人間関係を築くには、言葉によるコミュニケーションだけでは不十分で、非言語的なコミュニケーションを取り合うことも必要です。新型コロナウイルスが感染拡大する中、マスクが子どもたちの感情を読み取る能力を低下させ、友達との意思疎通を妨げている気がかかります。また、運動会などの学校行事が中止・縮小されることで連帯感や達成感を味わえる時間が奪われ、自治会の夏祭りなどが中止されることで様々な年齢層の人達との共同体験の機会が失われてもいます。これらの行事の効用は申し訳程度で人格形成にとって全く意味がないという意見もありますが、それらの体験は後々も子どもたちの心には残っているはずであり、このような実体験を通じた人間関係の記憶は適切な社会生活を営む上でのベースになっているのではないのでしょうか。豊かな言語環境にさらされることで言語能力が発達するように、少しでも複雑で豊かな社会環境で育まれることで、友達の気持ちが分かる、親の気持ち分かる、他人の痛みや苦しみが理解できる共感性が育つものと思います。

第3地区青少年健全育成推進協議会では、関係者の皆さんが子どもたちの健全な成長を考えてアイデアを出し、種々の文化・スポーツ体験活動を推進してきました。マスクを外したいいつもの日常がもどり、このような継続的活動が一刻も早く再開されることを願っています。

富士見中学校

第三地区青少年健全育成推進協議会の皆様には、日頃より学校の教育活動を支援していただき、心より感謝申し上げます。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の皆様と交流させていただく機会がなく、大変残念に思っております。

今年度は、感染予防対策を第一優先とした学校生活を余儀なくされ、特に学校行事は、大きく変更せざるを得なくなりました。体育祭は、学年ごとに時間を短くして行いました。合唱コンクールは、午前中に保護者の方をお招きして学年ごとの発表会とし、午後には全校生徒だけでコンクールを行いました。体育祭、合唱コンクールともに、種目数及び曲数や練習時間が限られていましたが、クラスで団結し、精一杯の力で前向きに取り組んでいた生徒たちの姿が印象的でした。

制限の多い生活となっておりますが、感染予防に努めながらも、二度と戻らない貴重な中学生生活を充実させ、楽しませてあげたいと思っています。

今後とも、生徒の健やかな成長のためにご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

栄小学校

第3地区青少年健全育成推進協議会の皆様には、日頃より子どもたちの健やかな成長のためにご尽力いただき感謝申し上げます。

感染症対策下において、様々な制限もある中ですが、学校生活もまとめの時期を迎え、子どもたちは「かしこく・やさしく・たくましく」の学校教育目標に向かって、元気に過ごしています。

今まで当たり前できていたことについて、知恵と工夫が求められる今年度の学校生活の中で、人と触れ合うことのありがたさ・嬉しさを改めて感じつつ、「今できることを考える」という学びの多い日々です。感染予防対策を講じながら地域の方のご協力をいただいたり、6年生や代表委員が、子どもならではの柔らかな発想で、新たな試みを生み出してくれたり、うれしい発見もありました。そんな活動の一部をご紹介します。

【1年生と6年生の音楽朝会】

本来は全校で行う音楽朝会ですが、密集を避けるために、大きく距離を取って、校歌の披露。入学して初めて生の歌声で聞く校歌は、1年生にどのように響いたでしょう。6年生も、本当はもっと近くで触れあいたいし、いろいろ教えてあげたいけれど我慢。「できる方法で、今できることを」の第1弾でした。



【落ち葉清掃】

例年は親子一緒にやりますが、今年は、分散で。PTAと児童環境委員がそれぞれの活動日を設けて行いました。



【栄小スタンプラリー】

開校記念日の恒例行事となっている「栄小スタンプラリー」今年度は中止の危機も聞こえてきましたが、感染状況を見ながら、代表委員が様々な意見を出し合い、赤と青に分かれての分散スタンプラリーが実施できました。密集や密接を避けてできるゲームを考えだし、今年度唯一の貴重な縦割り活動となりました。



一人ひとりが考えて、力を合わせて、できることをしっかりやっていく。まさに「かしこく・やさしく・たくましく」の栄っ子です。これからも、ご支援をよろしくお願いいたします。

本部事業

例年、講演会等行ってきましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は講演会・講座を行わず、杉下小学校及び栄小学校、富士見中学校の環境整備事業を実施することとなりました。花苗、園芸用品を購入し、各学校の環境整備活動に役立ててもらいました。

児童たちには、たくさんの花を花壇やプランターに植えてもらい、花いっぱいの学校づくりにみんなでも取り組みました。



研修部活動報告

研修部では例年、夏休み親子教室、冬の運動会、どんと焼き等様々なイベントを企画してきました。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、多数で集まるイベント開催が難しくなりました。研修部会自体の開催も思うようにできず、残念ですが、令和2年度のイベントは全て中止となりました。

何も活動出来ないまま1年が終わってしまうのはとても残念です。今年もコロナウイルスに影響される1年になりそうですが、その中で研修部としてどんな活動が出来るのか、研修部の皆さんと考えていければと思います。

指導部活動報告

指導部では各学校の終業式に合わせ、令和2年12月24日(木)に年末恒例のパトロールを行いました。公園含め、小中学生を見かける事もなく、コロナ禍の影響もあり、公園にいる人、買い物をしている人も含め、出控えを感じました。

昨年末からの感染増加に伴い、2回目の緊急事態宣言が発令され、さらなる影響も心配されます。昨年同様、今年も様々な活動が自粛される事が想定されます。

指導部としての活動も難しくなっている中、プリンス公園、中央公園では盗撮等の被害も出ているようです。日頃からの地域の皆様の見守りが大変重要になってまいります。どうか皆様、今後とも、温かい目で子どもたちを見守って頂ければと思います。



暗い夜道に映える赤いジャケットを見かけたら指導部のパトロールです

市民センターから



東市民センター

今年度は関係者及び来場者の健康・安全面を考慮し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月の結桜まつりをはじめ今年1月のどんと焼きなど、東市民センターの行事が中止となりました。楽しみにされていた地域の皆様には大変残念なことと思いますが、感染状況が落ち着き、また開催できるようになるまでしばらくお待ち下さい。

今後については、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、行事など決まり次第、鶴ヶ島市ホームページやチラシなどでお知らせいたします。

富士見市民センター

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、第3地区青少年健全育成推進協議会や小中学校PTA等との共催事業は中止となり、また、子どもたちを対象にした体験教室や映画会なども全て中止となってしまいました。

また、市民センターのロビーの使用制限や毎週月曜日の放課後「ふじみこどもサロン」の中止により、子どもたちが宿題をしたり、遊んだりしている日常の風景も見られることなく、1年が過ぎようとしています。

家でも学校でもない場所、地域での子どもたちの居場所としての市民センターの役割が途切れることのないように、感染症対策を講じながら、できることに取り組んでいきたいと思っております。

〇令和3年成人式の開催

会場を富士見市民センターから栄小学校に移し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで、令和3年1月10日に成人式（富士見中学校区）が挙行されました。

しかしながら例年の「成人者のつどい」は中止となり、懐かしい旧友との懇談会や恩師との再会の機会も設けることはできませんでした。コロナ感染拡大により中止や延期、オンライン配信による成人式が多かった中で、実際に会場に集うことができたことが、成人者にとって少しでも思い出に残るものとなれば幸いに思います。

式典の司会は、成人者の五十嵐初菜さんが務め、また、黛 優一郎さんが「多くの方々の温かい支えのおかげで成長し続けることができました。すべての方々への感謝を忘れず、自らの行動に責任を持ち、周りの人々を思いやる心をもって社会に貢献していくことを誓います。」と誓いのことばを述べました。新成人の方たちの大いなる活躍を期待します。

成人式の開催・運営にあたり、栄小学校をはじめ、富士見市民センター利用者や富士見利用者の会、第3地区青少年健全育成推進協議会からご協力をいただき、無事に成人式を終えることができました。ありがとうございました。



五十嵐初菜さん 黛優一郎さん
※写真撮影時のみマスクははずしております

学校から



杉下小学校

第3地区青少年健全育成推進協議会の皆様には、日頃より子どもたちの安心・安全な環境づくりのためにご尽力いただき感謝申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対策を行いつつ、工夫しながら可能な範囲で学校の教育活動を行ってまいりました。今回は、今年度実施してきた地域の方々との活動や本校ならではの特色ある体験活動などについてご紹介いたします。

今後も、皆様との「心温かいふれあい」を大切にしながら、子どもたちの健やかな成長のためにご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

トイレ・流し清掃ボランティア活動



コロナ禍で児童のトイレ掃除が制限される中、保護者の皆さんが掃除の手伝いをしてくれました。

親子除草作業



児童、保護者、地域の方々など150名の皆さんに学校をきれいにしていただきました。

土器づくり（野焼き）



6年生の社会科の学習で土器づくりに挑戦し、学校の校庭で野焼きを行いました。

野外体験学習（キャンプファイヤー）



5年生の宿泊学習の中止に伴い、学校の校庭を利用して、キャンプファイヤーを行いました。

花壇の花植え作業



環境委員会の児童が、第3地区青少年健全育成推進協議会からいただいた花を学校の花壇に植えました。

朝のあいさつ運動



代表委員会を中心となり、あいさつ運動を行っています。今では1～6年生の100名ほどが参加しています。